



# 雇用失業情勢について

第2回 長崎県在籍型出向等支援協議会

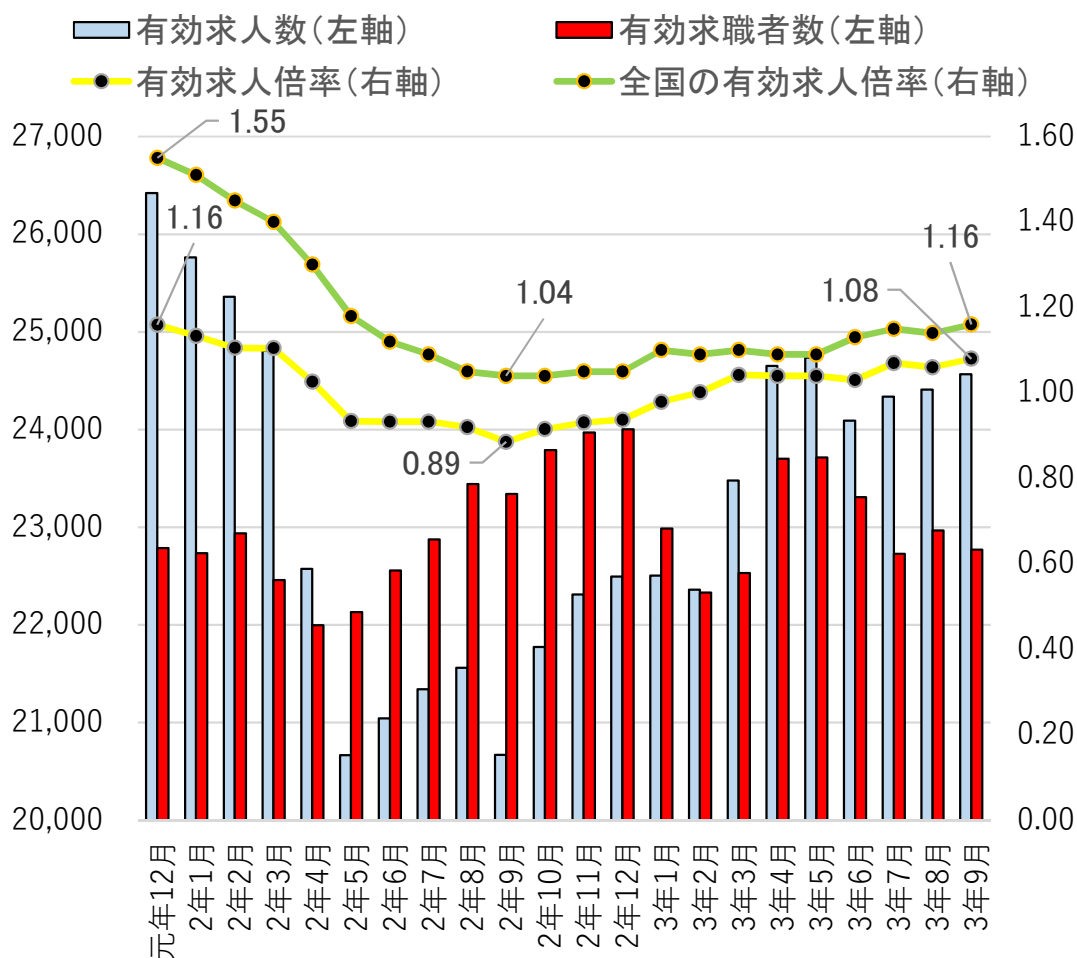
長崎労働局 説明資料

令和3年9月末現在

# 1 現下の雇用失業情勢について

現下の雇用失業情勢は、求人が求職を上回って推移しているが、引き続き新型コロナウイルス感染症が雇用に与える影響を注視する必要がある。

長崎県の有効求人倍率(季節調整値)の推移



【長崎県の有効求人倍率】

令和3年9月 1.08倍 (前月比: 0.02p上昇)  
令和2年9月を底として、回復傾向

※ 新型コロナ発生後の最低求人倍率  
0.89倍 (令和2年9月)

※ リーマンショック後の最低求人倍率  
0.39倍(平成21年7月・8月)  
リーマンショック時は0.55倍(平成20年9月)

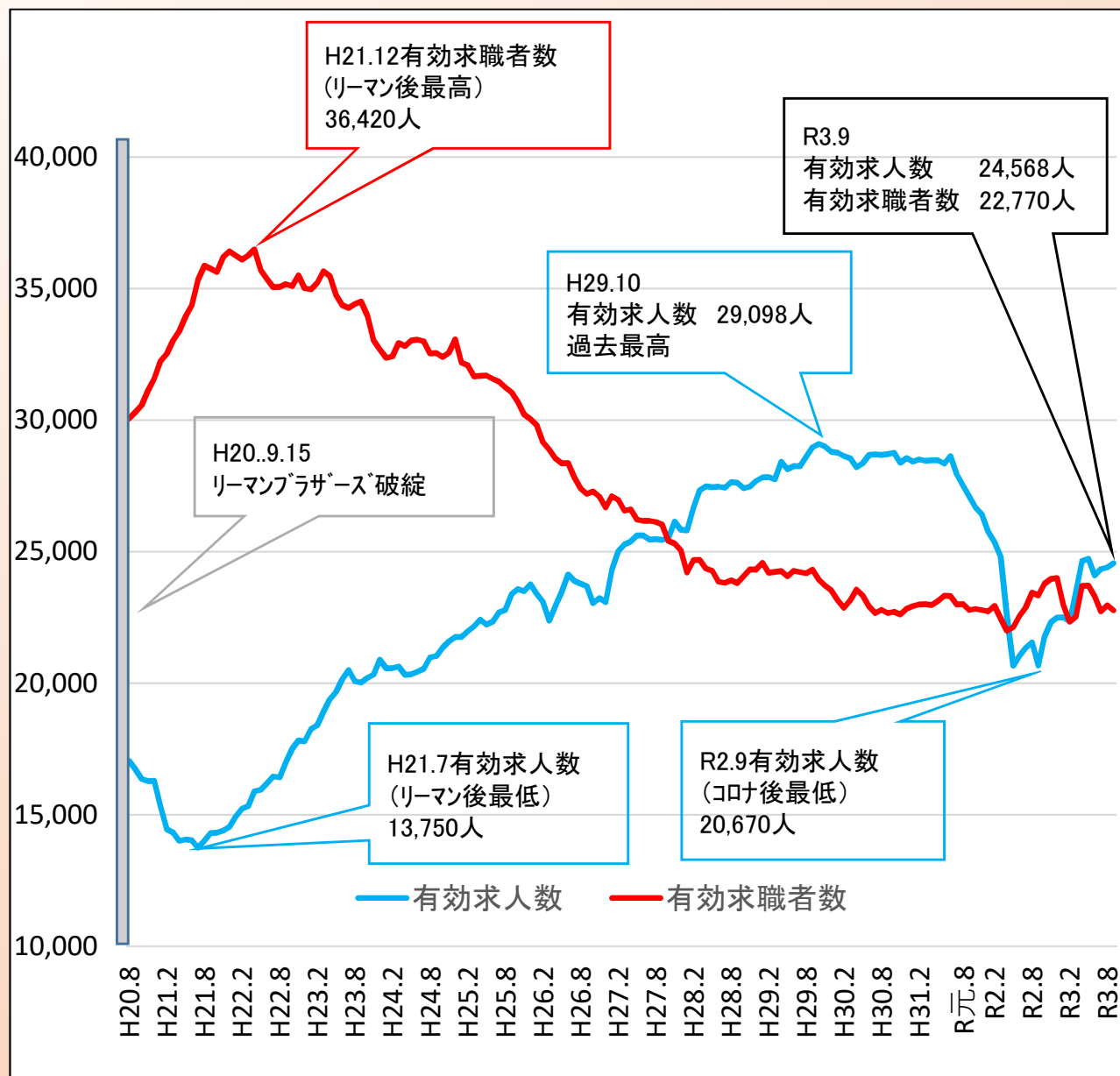
【全国の有効求人倍率】

令和3年9月 1.16倍 (前月比: 0.02p上昇)

※ 新型コロナ発生以降の最低求人倍率  
1.04倍(令和2年9月・10月)

※ リーマンショック後の最低求人倍率  
0.42倍(平成21年8月)  
リーマンショック時は0.83倍(平成20年9月)

## 2 有効求人数及び有効求職者数の動向について(季節調整値)



### 【有効求人数の動向】

有効求人数 24,568人  
 3か月連続で増加(前月比:0.7%増加)  
 令和2年9月から、有効求人数は増加傾向であるが、以前から人材不足産業の「建設業」や「医療福祉」の求人が増加している。

### 【有効求職者数の動向】

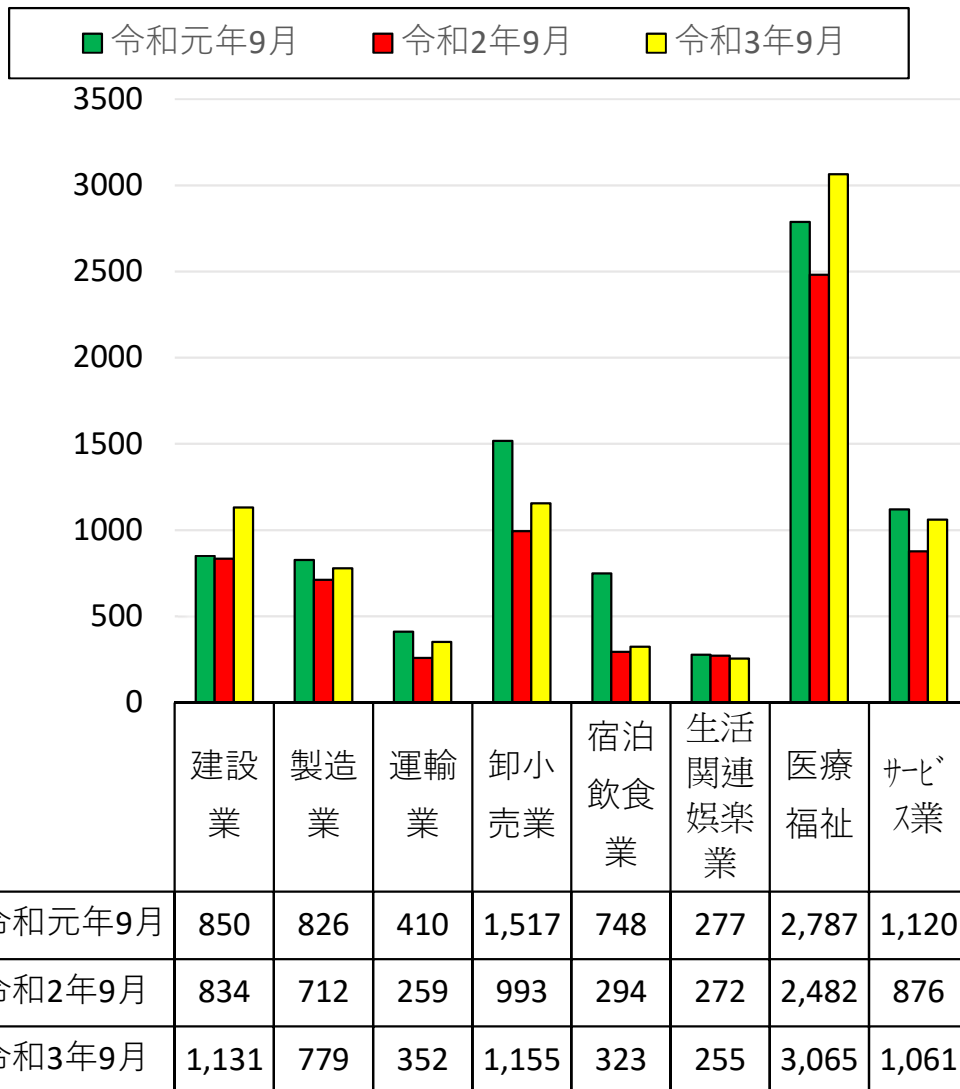
有効求職者数 22,770人  
 2か月振りの減少(前月比:▲0.9%減少)  
 ワクチン接種が進展し、感染症が落ち着きを見せる中、高年齢者や在職中の方の求職者は増加傾向にある。

### 【求人・求職の今後の動向】

ワクチン接種が進展したことにより、社会経済活動の再開の動きが見受けられ、有効求人数は増加傾向で推移している。  
 このまま順調に労働需要が持ち直していけば、潜在化している求職者が求職活動を再開する可能性も考えられるため、今後の求職者の動向に注視する必要がある。

### 3 主要産業の新規求人の状況(原数値)

新規求人の状況 (原数値)



新規求人数は、前年同月比で21.5%(7か月連続)増加したが、令和2年9月の前年同月比は、感染症の影響で大幅に減少(▲19.7%)した反動での増加であり、感染症の影響がなかった令和元年9月との比較では▲2.4%の減少となった。

感染症が落ち着きを見せる中、以前から人材不足産業の「建設業」や「医療・福祉」の新規求人数は大幅に増加しており、今後も堅調に推移するものと考えられるが、観光関連産業の「宿泊業・飲食業」やそれに付随する産業については、前々年同月比では新規求人数は減少しており、産業間によって回復度合いには、ばらつきがみられる。

**【主要産業の前年度比・前々年度比】**

**【参考:全産業】**

前年同月比 21.5% 1,637人増加      前々年同月比 ▲2.4% 228人減少

**【建設業】**

前年同月比 35.6% 297人増加      前々年同月比 33.1% 281人増加

**【製造業】**

前年同月比 9.4% 67人増加      前々年同月比 ▲5.7% 47人減少

**【運輸業】**

前年同月比 35.9% 93人増加      前々年同月比 ▲14.1% 58人減少

**【卸小売業】**

前年同月比 16.3% 162人増加      前々年同月比 ▲23.9% 362人減少

**【宿泊飲食業】**

前年同月比 9.9% 29人増加      前々年同月比 ▲56.8% 425人減少

**【生活関連・娯楽業】**

前年同月比 ▲6.3% 17人減少      前々年同月比 ▲7.9% 22人減少

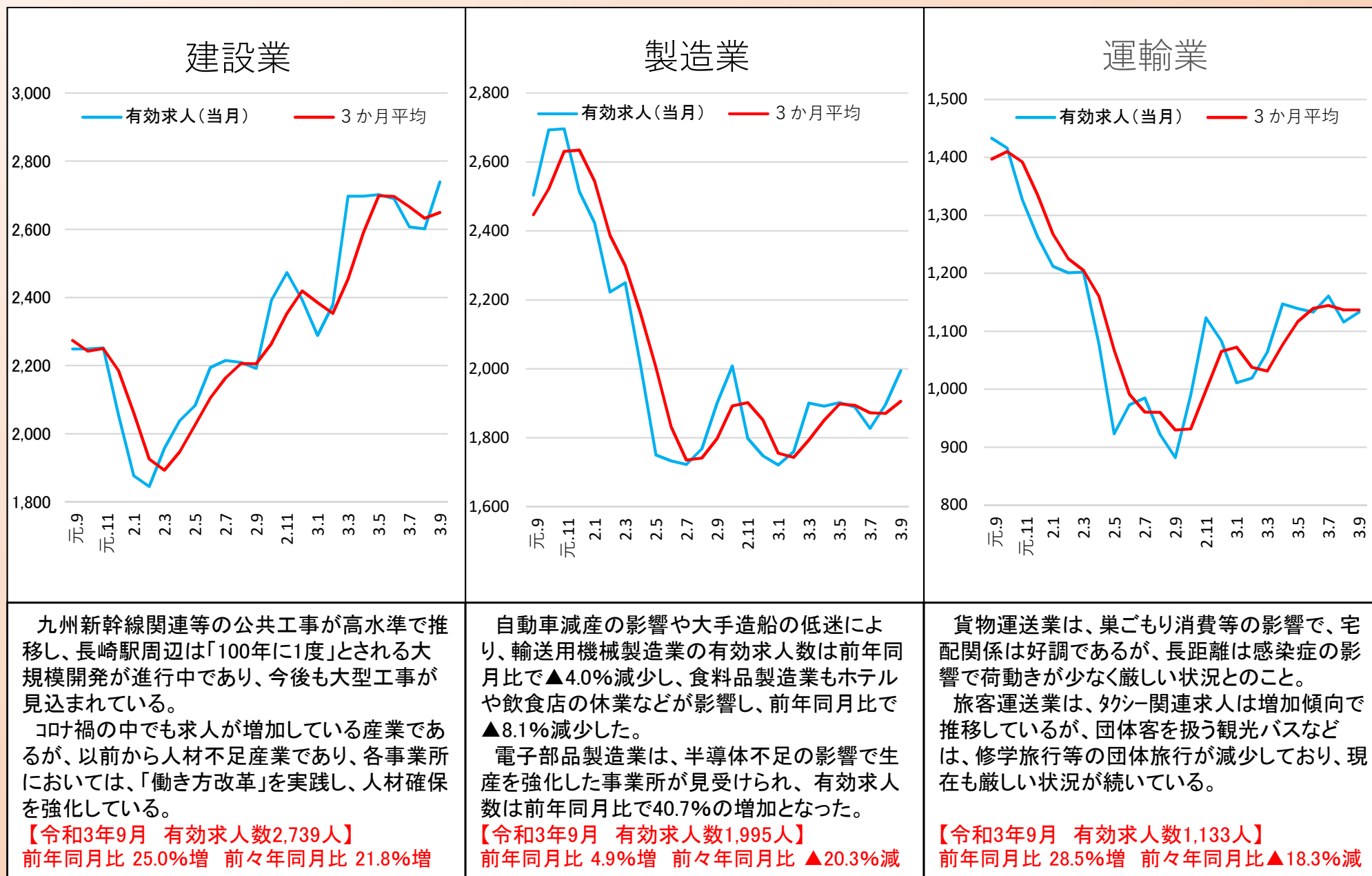
**【医療・福祉】**

前年同月比 23.5% 583人増加      前々年同月比 10.0% 278人増加

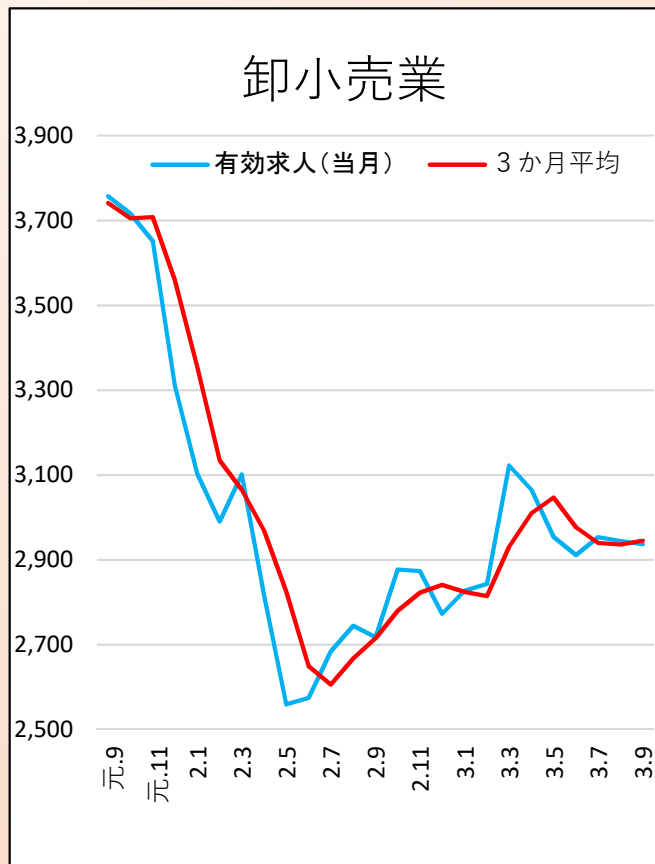
**【サービス業】**

前年同月比 21.1% 185人増加      前々年同月比 ▲5.3% 59人減少

## 4 主要産業の有効求人人数の推移(原数値)及び動向について①



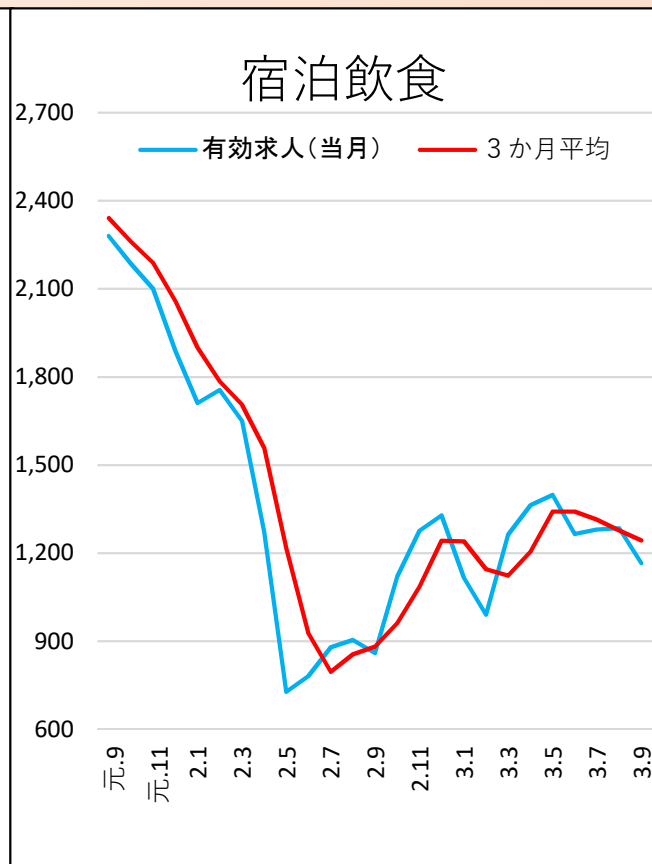
## 4 主要産業の有効求人数の推移(原数値)及び動向について②



スーパーやドラッグストア、その取引先の事業所は比較的堅調であるが、飲食店やホテル等が取引先の事業所は引き続き厳しい状況が続いている。

小売業においては、コロナ禍の中であることもあり、非接触型への移行や省人化の動きも加速している。

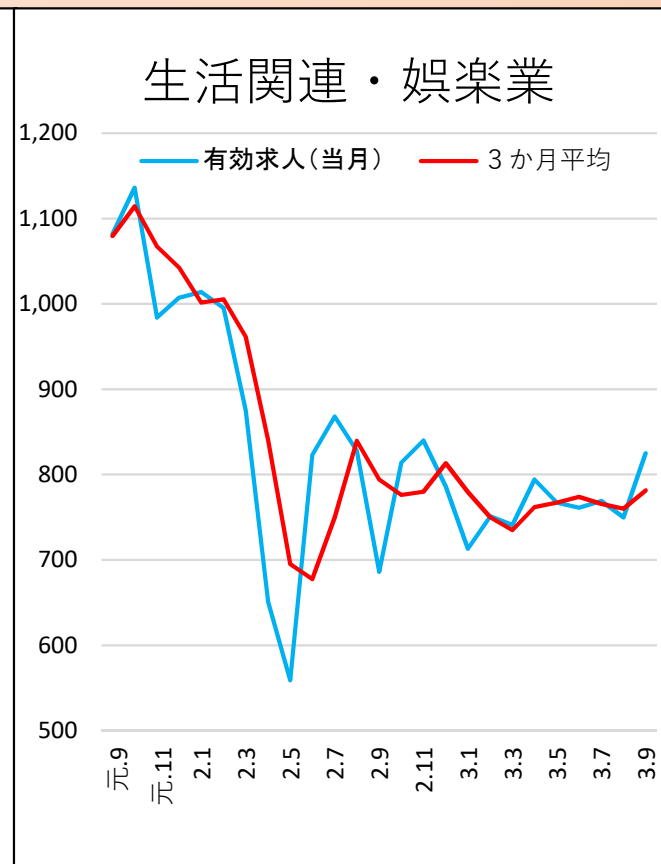
**【令和3年9月 有効求人数2,937人】**  
前年同月比 8.1%増 前々年同月比▲21.8%減



感染症の影響を直接受けた産業であり、外国人観光客の減少によるインバウンド需要の消失に加え、国内観光も低迷したことで、現在も雇用調整助成金を活用している事業所もあり、引き続き厳しい状況が続いている。

観光支援策(Goto等)の再開に期待が持たれ、今後の求人の動向に注視する必要がある。

**【令和3年9月 有効求人数1,166人】**  
前年同月比 35.6%増 前々年同月比▲48.9%減

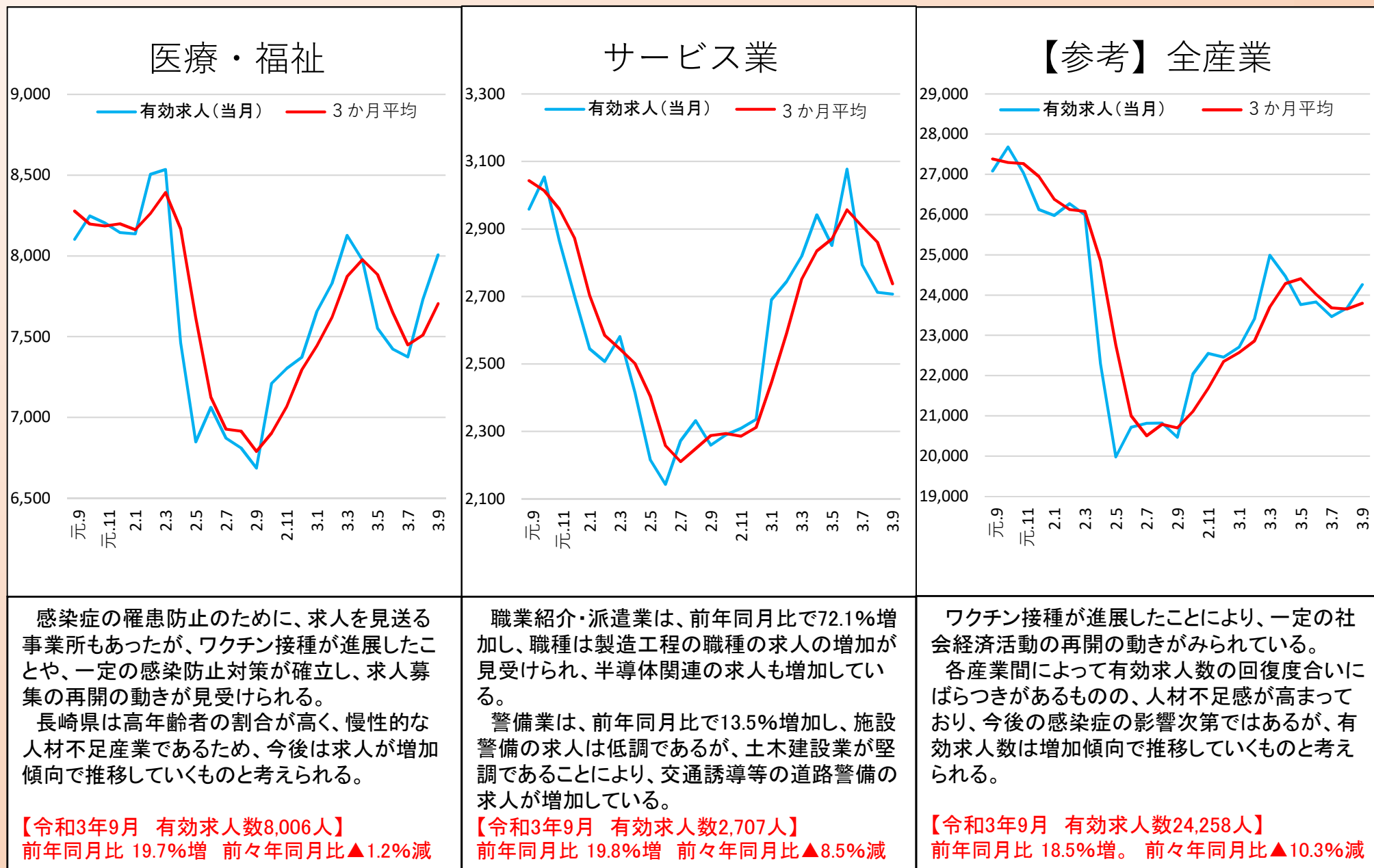


理美容業は、前年同月比で28.4%増加し、特に美容業からの求人が増加している。洗濯業については、宿泊飲食業の休業等の影響により、求人の増加は見受けられない。

娯楽業は、前年同月比では5.3%増加しているが、そのうち遊技場の求人は、感染症の影響で売上げが低迷したことなどが影響し、求人数が減少となっている。

**【令和3年9月 有効求人数825人】**  
前年同月比 20.3%増 前々年同月比▲23.8%減

## 4 主要産業の有効求人数の推移(原数値)及び動向について③



## 5 新型コロナウイルス感染症に起因する雇用への影響に関する情報について(長崎労働局把握分)

### 【本情報の留意点】

「解雇等見込み労働者数」については、労働局及びハローワークでの相談過程において把握できた範囲のものであり、必ずしも網羅性があるものではなく、累積値がコロナの影響を受けて失業された方の全体の人数を表すものではありません。

また、把握時点での情報であるため、過去に把握した情報の一部には既に再就職をされた方も含まれているため、累積値の人数がその時点で失業されている方の人数を表すものではありません。

### 【新型コロナウイルス感染症に起因する解雇等見込み労働者数】

令和 3年 9月末現在 318事業所 2,091人(うち非正規雇用 826人)

※ 集計期間 令和2年1月31日～令和3年9月30日

ただし、非正規雇用については、令和2年5月25日から集計開始

### 【産業別の解雇等見込み労働者数(トップ3)】

- |                 |       |                    |
|-----------------|-------|--------------------|
| (1) 製造業         | 54事業所 | 716人(うち非正規雇用 232人) |
| (2) 宿泊業・飲食サービス業 | 58事業所 | 508人(うち非正規雇用 231人) |
| ※ うち飲食サービス業     | 42事業所 | 172人(うち非正規雇用 88人)  |
| (3) 卸売業・小売業     | 62事業所 | 289人(うち非正規雇用 125人) |

※ ハローワークでは新型コロナウイルス感染症の影響により解雇等された方に対して、相談支援体制を強化し、きめ細かな再就職支援等に取り組んでいます。